

## 第 14 回歴史都市防災シンポジウム

日 時：2020 年 12 月 5 日（土）10:30～17:40

場 所：オンライン開催（Zoom）

主 催：立命館大学 歴史都市防災研究所

参加費：無 料

参加方法：事前登録制

次の URL もしくは QR コードにて、氏名、所属、メールアドレス、参加予定セッション、CPD 証明書発行希望を入力下さい。

確認後、Zoom の会議 URL をご連絡いたします（11 月 25 日送信予定）。

<https://forms.gle/R8gBoWDanzJcNcVk8>



プログラム：

時間	特別講演（Webinar）		
10:30～12:00	「文化遺産の防災：被災修復と価値」 益田 兼房 氏 （立命館大学衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所客員研究員）		
時間	Zoom A 会場 (Room1)	Zoom B 会場 (Room2)	Zoom C 会場 (Room3)
13:00～14:20	A1. 防災技術（1）	B1. 歴史災害	C1. 防災計画（3）
14:40～16:00	A2. 防災技術（2）	B2. 防災計画（1）	C2. 防災計画（4）
16:20～17:40	A3. 防災技術（3）	B3. 防災計画（2）	C3. 防災計画（5）

本シンポジウムは、土木学会継続教育認定プログラム（JSCE20-0792）です。建設系 CPD 協議会のホームページにも掲載されており、日本建築学会など各種団体に相互承認可能な場合がありますので、ご自身でご確認下さい。

<http://www.cpd-ccesa.org/>

なお、土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められない場合もあります。

※今回のシンポジウムの証明書を希望の方は、終了後にお送りする【受講証明書発行依頼書】に必要事項と共に受講して得られた学びを 100 字以上で記入頂き、シンポジウム事務局までお送り下さい。

シンポジウム事務局メールアドレス：[heritage@st.ritsumei.ac.jp](mailto:heritage@st.ritsumei.ac.jp)



【A 会場】

A1. 防災技術（1） 13:00～14:20 座長：吉富信太

1. 【論文】 通し柱を考慮した限界耐力計算について  
山田耕司
2. 【論文】 柱の傾斜復元力特性を含む礎石建ち板壁構面の繰り返し載荷実験  
瀧野敦夫，佐藤濤，日比野惇，江南桃，宮本裕司
3. 【論文】 木材の部分横圧縮のひずみ硬化のメカニズムとシミュレーション  
棚橋秀光，鈴木祥之
4. 【論文】 柱脚浮き上がりを許容した壁を含む架構の水平耐力の実験的検証  
山田耕司

A2. 防災技術（2） 14:40～16:00 座長：伊津野和行

5. 【論文】 木造建築物の振動計測と立体解析モデルを用いた連結制震による応答低減効果の検討  
中西裕也，吉富信太
6. 【論文】 法隆寺東院鐘楼の縮小模型の加振実験  
田口仙市郎
7. 【論文】 多点同時振動計測に基づく柔床立体建物の部位別剛性・減衰・質量推定法  
西川慶，吉富信太
8. 【論文】 壁長と壁倍率から評価した伝統的木造家屋の耐震性 —被害を受けた熊本県益城町の伝統的木造家屋の熊本地震強震動に対する地震応答性状—  
池田雄一

A3. 防災技術（3） 16:20～17:40 座長：藤本将光

9. 【論文】 倉吉市旧明倫小学校円形校舎の構造特性に関する研究 —第 1 次診断と微動観測について—  
野村直樹，定村泰房
10. 【論文】 断面修復コンクリートの修復界面の形態と熱的挙動の関係  
神代康輔，吉富信太，金侖美，福山智子
11. 【論文】 當麻寺東塔の明治修理における三層屋根の重量の変化について  
中嶋裕典
12. 【論文】 城郭天守台石垣の鉛直荷重時安定性について  
榊井健，鮫島由希子

【B会場】

B1. 歴史災害 13:00～14:20 座長：河角直美

13. 【論文】江戸・東京の土蔵の変遷に関する研究

森下雄治

14. 【論文】「災害碑」という概念と分類方法の検討

大邑潤三

15. 【論文】地域課題に直面する奥尻島青苗言代主神社例祭とその対応

蟬塚咲衣，稲垣森太，手塚薫

B2. 防災計画（1） 14:40～16:00 座長：金度源

16. 【論文】インドネシア・スンバ島における民家の現状と住人の防火意識

藤木庸介，横田祥子，セバスチャン ヴィンセント

17. 【論文】歴史的街区に備わる減災手法の防火性能評価 ～伝統的緑地による延焼抑止効果に着目して～

大窪健之，砂田陸，金度源

18. 【論文】重要文化財後背斜面での現地計測結果に基づく降雨量と斜面の変位量との関係

檀上徹，藤本将光，石澤友浩，深川良一，里深好文

19. 【報告】Research on the Disasters Monitoring and Early Warning in Tibetan Villages of the World Heritage Site Jiuzhaigou

Hongtao Liu, Shanshan Zhu, Wenjiang Zou

B3. 防災計画（2） 16:20～17:40 座長：大窪健之

20. 【論文】Risk Assessment and Disaster Preparedness of Museums in Ombilin Coal Mining Heritage of Sawahlunto, Indonesia

Roni Armis, Rahmat Gino Sea Games, Hidehiko Kanegae

21. 【報告】Ambulance for Monuments -Urgent Intervention on Heritage

Eugen Vaida

22. 【論文】Assessing Awareness, Perception, and Usage Intention of a Disaster Information System: A Case of SIKK Magelang

Kartika Puspita Sari, Hidehiko Kanegae, Muflichah Roychani

23. 【報告】災害記憶継承に向けた出版活動 —2015年ネパール地震を事例として—

サキヤ ラタ，大窪健之，金度源

【C会場】

C1. 防災計画（3） 13:00～14:20 座長：小川圭一

24. 【論文】災害情報を即時共有する地域防災情報ネットワークシステムの導入効果に関する検証 ～京都市先斗町での避難シミュレーションを通して～

山根雅也，大窪健之，金度源

25. 【論文】重要伝統的建造物群保存地区における公有建物と私有敷地の防災拠点化に関する調査研究 ―地域防災資源のデータベース構築と事例調査を通して―

金度源，中林秀光，大窪健之

26. 【論文】非医療従事者の一次救命の不確実性をふまえた AED・サインの適正配置 ―伏見稲荷大社を対象としたマルチエージェントシミュレーション―

山田悟史，中島昌暉

27. 【報告】観光客等の緊急避難場所としての社寺の能力評価に関する研究 ～京都市清水・祇園地域を対象として～

谷口有里香，大窪健之，金度源

C2. 防災計画（4） 14:40～16:00 座長：青柳憲昌

28. 【論文】京都市嵐山地区の事前復興計画に向けた建築物の類型化及び印象評価に基づく浸水被害を想定した復興モデルの提案

内貴美侑，平尾和洋

29. 【論文】防災街区整備事業を活用した密集市街地整備に関する研究

山際大貴，岡井有佳

30. 【論文】京都市下京雅学区の事前復興計画に向けた建築物の類型化及びその評価に基づく復興モデルの提案と延焼危険性の分析

平尾和洋，田中勇氣

31. 【報告】保津川および沿岸地域における流域空間デザインの研究

松田麗央，武田史朗

C3. 防災計画（5） 16:20～17:40 座長：武田史朗

32. 【報告】大工仕事の力加減の可視化 ―Human Computer Interaction 技術を用いた伝統技術の保存継承―

小島尚之，山田悟史

33. 【論文】石垣の見え方が丸亀城景観の印象評価に与える影響に関する研究

藤井健史，寺口絢子

34. 【論文】文化遺産防災を対象とした CVM における「特定可能な犠牲者効果」に関する分析

小川圭一，志賀健生

35. 【論文】中央アジア・ザラフシャン川流域における土地利用変化と考古遺跡 ―Landsat 衛星データを用いた分析から―

宇佐美智之